

2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第7戦 ツインリンクもてぎ

レースレポート

11月6日(日) 天気：曇りのち雨

昨夜に降った雨で路面はウェットの状態を迎えた Race1。23周回の超スプリントレース。小暮9番、大祐12番グリッドからのスタート。難しい路面コンディションではあったが、2台ともスリックタイヤでのスタートをして、上位に食い込んでいけるよう粘り強い走りを披露。

小暮は他のマシンのスピンに巻き込まれる格好でフロントウイングを破損しながらの走行を強いられたが、トップグループと遜色ないタイムで走行、5位でチェッカーを受けた。大祐はフォーメーションラップでスピンをし、最後尾からのスタートとなってしまったが、諦めることなく前のマシンを追いかけていき、11位でチェッカーを受けた。

午後に行われた Race2 はレインコンディションの中、スタート。だんだんと雨量が多くなりドライバーにとっては厳しい走行を強いられたが、冷静に確実に周回を重ねていく。10周回を終了した頃、コース上で多重クラッシュが発生し赤旗中断。その後レースは再開されたが、状況に変化はなく終始雨の難しいコンディションの中、粘り強く1つでも前のポジションを目指し走り続け、小暮は4位、大祐は7位でチェッカーを受けた。

◇観客動員数：

11月5日(土) 予選 6,000人

11月6日(日) 決勝 9,000人

◇コメント

チームディレクター：藤井 一三

「第1レースは少し濡れた路面ではありましたがドライタイヤでのスタートを選択。大祐のスピン、小暮の接触等アクシデントはありましたがその後は順調に走ってくれました。

第2レースは雨が降り出したためウェットタイヤでのスタート。両ドライバー共視界が悪い中ミスなく果敢にレースを戦ってくれたと思います。

2011シーズンも終わってしまいました。当然今シーズンは納得の出来る成績ではありません。来シーズンはもう少し良いコメントが出来るように頑張ります」

EPSON

ZOJIRUSHI

ej works.com

ONE DAY SMILE

WPC

elf

HONDA

JCL
Japan Center Line



S&S F

ED
HONDA
POWER
STROKE
POWER

NGK
SPARK PLUGS

BBS

CRS

PERFORMANCE
FRICION
BRAKES

JAPAN RACING

Amal

#31 ドライバー 中嶋 大祐

「第 1 レースはフォーメーションラップでできるだけタイヤを温めようとしたところミスをしてしまい、最後尾からのスタートとなってしまいました。そのあと、雨の量が多かった前半はタイヤをうまくグリップさせることができず苦しい展開となりました。雨の量が減ってきた後半のペースはよかったのですが前半にひらいた前のマシンとの差を縮めきることはできず 11 位でのフィニッシュとなりました。

第 2 レースは雨の量がとても多く非常に難しいレースでした。視界が悪くミスが一切許されないレースでしたが、その中でミスなく走り切り結果として 7 位でフィニッシュしポイント獲得できたのはよかったと思います。苦戦することが多いシーズンでしたが、ご声援をいただいたみなさまにはとても感謝しています。来週のスプリントカップも精一杯頑張ります」

#32 ドライバー 小暮 卓史

「1 レース目はスタートで半分ストールしたのが原因で数台にパスされてしまいました。スタート直後に 8 号車がスピン、それをよける為に他のマシンのリアタイヤとフロントウイングが接触し、破損してしまいました。ただマシンのには自分が求めてきたものに近い動きが出てきてペースも悪くありませんでした。途中数台をパスし 5 番手。マシンが完璧ならばトップも狙えるポテンシャルが確認できたので、ここで証明されてホッとしました。

2 レース目はスタートがよくて 1 台をパスしましたが、前が見えなくて再度抜かれて順位を落としてしまいました。ペースはよかったはずですが、赤旗中断中にマシンのセッティング変更とタイヤ交換を施しました。

雨の量が減ったので危険性は減りましたが、ハンドリングバランスがタイヤを変えたことにより悪化しペースが思うほど上がらず、残念な結果となりました。

今シーズンはタイヤという重要なファクターが変わったことによりこれまでのセッティングが通用せず、中嶋レーシングらしからぬところをお見せしてしまい、悔しい気持ちでいっぱいです。しかし、少しずつ前進し来年に向けベースを作りつつあります。来年こそは悲願のチャンピオン獲得に向け準備を着々と進めていこうと思います。今シーズンもご声援ありがとうございました」

中嶋 悟 総監督

「1年間たくさんのご声援をいただきありがとうございました。レースの内容はポジションが悪いにもかかわらず、5位と11位でレースを終え、スリックタイヤではあるけれど、濡れた場所がある難しいコンディションを無事に走り切ることができました。

第2レースは雨量の多いレースとなりました。小暮は1つ上げ4位、大祐は13位から6つあげて7位でフィニッシュ。ともに厳しいコンディションの中、無事に走り切りシーズンを終わりました。

これからも来年に向けて頑張っていきますので、引き続き応援よろしくお祈いします」

◇次戦は11月11、12、13日に富士スピードウェイにて FUJI SPRINT CUP 2011 が開催されます。